



いつか  
わたしも・・・

ひまわりの種

5回め

ある方から食卓でのお話しを聞く機会がありました。

今、現在の事ではなく昔の話しと言う事でしたが…  
身近な方と食事中に、感じた事らしいのですが。

身内でトラブルがあった後の食事って、多分どなたでも経験があるかと思うのですが  
しいーんとしていて気まずくて  
人に、あるいはその場に気を使いながら  
あるいは俯いたまま取りあえず食べる  
とても美味しいとは言えない思えない食事。

その方は、そういう食卓がとても久しぶりだったそうで、ほぼ毎日がそんな食卓だった頃 〈小中学生〉 を思いだされ、とても悲しかった様で…

「今ごろあんな事思いだすんやあ」と少し涙目でおっしゃてみえました。  
私の前では平然と話してくれましたが、辛く悲しい思いがとても伝わってきました。

私事になりますが  
記憶のある幼稚園から中学を卒業し家を出るまでの間、ずっとずっと辛い食卓だった様に思います。

その当日は、それが当たり前であって当たり前の毎日でした。

「砂を噛む」と言うような言葉がありますが  
毎日がそんな食卓だったと思います。

美味しいなんて感じないし  
楽しくなんてなかった  
食べているって感じではなくて  
ただただ、口に運んでいました。  
こぼさない様に  
目を合わせない様に  
音をたてない様に

とにかく怒らせない様に  
かけこむと怒らせてしまうので  
噛む回数も決まっているので  
ただただ口に運んでいました。

そんな食卓で、毎日の食事をしてきた記憶が思い出されます。

知人のお話を聞きながら、聞き終えた後だったのでしょうか、知人の当時のその場での姿に心が  
痛み…

その後、私自身の小さい子供時代の食卓が目の前に何度も何度も再現され…

はたまたフラッシュバックで何度も何度も実母に怯えています。